

# 四半期報告書

(第60期第1四半期)

自 平成24年4月1日  
至 平成24年6月30日

**八千代工業株式会社**

(E02224)

# 目次

|                               | 頁  |
|-------------------------------|----|
| 表紙                            |    |
| 第一部 企業情報                      | 1  |
| 第1 企業の概況                      | 1  |
| 1 主要な経営指標等の推移                 | 1  |
| 2 事業の内容                       | 1  |
| 第2 事業の状況                      | 2  |
| 1 事業等のリスク                     | 2  |
| 2 経営上の重要な契約等                  | 2  |
| 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析  | 2  |
| 第3 提出会社の状況                    | 4  |
| 1 株式等の状況                      | 4  |
| (1) 株式の総数等                    | 4  |
| (2) 新株予約権等の状況                 | 4  |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 4  |
| (4) ライツプランの内容                 | 4  |
| (5) 発行済株式総数、資本金等の推移           | 4  |
| (6) 大株主の状況                    | 4  |
| (7) 議決権の状況                    | 5  |
| 2 役員の状況                       | 5  |
| 第4 経理の状況                      | 6  |
| 1 四半期連結財務諸表                   | 7  |
| (1) 四半期連結貸借対照表                | 7  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  | 7  |
| 2 その他                         | 14 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報             | 15 |

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

|            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                            |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                |
| 【提出先】      | 関東財務局長                            |
| 【提出日】      | 平成24年8月10日                        |
| 【四半期会計期間】  | 第60期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）  |
| 【会社名】      | 八千代工業株式会社                         |
| 【英訳名】      | Yachiyo Industry Co., Ltd.        |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 辻井 元                      |
| 【本店の所在の場所】 | 埼玉県狭山市柏原393番地                     |
| 【電話番号】     | 04-2955-1211（代表）                  |
| 【事務連絡者氏名】  | 経理部長 川瀬 和昭                        |
| 【最寄りの連絡場所】 | 埼玉県狭山市柏原393番地                     |
| 【電話番号】     | 04-2955-1211（代表）                  |
| 【事務連絡者氏名】  | 経理部長 川瀬 和昭                        |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所<br>（大阪府中央区北浜1丁目8番16号） |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次  | 第59期<br>第1四半期<br>連結累計期間   | 第60期<br>第1四半期<br>連結累計期間   | 第59期                      |
|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 連結会計期間                                      | 自平成23年4月1日<br>至平成23年6月30日 | 自平成24年4月1日<br>至平成24年6月30日 | 自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日 |
| 売上高 (百万円)                                   | 51,724                    | 66,478                    | 271,650                   |
| 経常利益 (百万円)                                  | 618                       | 2,148                     | 3,391                     |
| 四半期純利益<br>又は四半期(当期)純損失(△) (百万円)             | △456                      | 1,356                     | △1,849                    |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円)                         | 282                       | 3,617                     | △2,826                    |
| 純資産額 (百万円)                                  | 36,776                    | 37,319                    | 33,369                    |
| 総資産額 (百万円)                                  | 115,817                   | 123,595                   | 131,526                   |
| 1株当たり四半期純利益<br>又は1株当たり四半期(当期)純損失<br>(△) (円) | △18.99                    | 56.50                     | △77.00                    |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>四半期(当期)純利益 (円)              | —                         | —                         | —                         |
| 自己資本比率 (%)                                  | 27.9                      | 25.4                      | 21.7                      |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等を含めておりません。
- 3 第60期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第59期第1四半期連結累計期間及び第59期については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項について重要な変更及び新たに生じたものではありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、国内の景気は、円高の長期化などにより依然として厳しい状況にあるものの、東日本大震災からの復興需要等を背景として、設備投資は持ち直し、個人消費も増加するなど、緩やかに回復しつつあります。一方、海外においては、米国の景気は、雇用環境の改善の遅れなどにより、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しております。アジア諸国の景気は、拡大のテンポが中国では緩やかになっており、インドでは弱まっております。その他のアジア諸国においては、景気は一部に持ち直しの動きもみられるものの、足踏み状態となっております。欧州主要国の景気は足踏み状態にあり、一部に弱い動きもみられております。また、欧州地域の一部の国々における財政の先行き不安の高まりが、金融資本市場に影響を及ぼしていること等により、世界景気の下振れが懸念されております。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のS（営業）E（生産）D（製品開発）B（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成の強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるための新たな機構や新材料などを活用した製品開発の強化に加え、「先進技術と革新商品の継続的創造」を目的に、S、E、D、Bが一体となって部品事業の拡大に向けた主要製品の次世代技術の研究や、新規事業の参入に向けた製品開発のための体制の構築に取り組んでまいりました。生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、市場拡大が見込まれるメキシコとインドネシアでの新拠点操業に向けた準備に取り組んでまいりました。また、国内外主要顧客の需要に応じた生産の最適化を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、664億7千8百万円と、東日本大震災の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産に伴う受注の減少などがあつた前年同期の売上高517億2千4百万円に比べ、147億5千3百万円、28.5%の増収となりました。利益につきましては、自動車部品における増収に伴う利益の増加や原価改善効果及び減価償却方法を定率法から定額法へ変更したことによる減価償却費の減少などにより、経常利益は、21億4千8百万円と前年同期に比べ15億3千万円、247.6%の増益となりました。四半期純利益は、経常利益の増加に加え、固定資産売却益の増加などにより、13億5千6百万円と前年同期の四半期純損失4億5千6百万円に比べ18億1千2百万円の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品における大幅な受注の増加などにより、売上高は、375億6千6百万円と前年同期に比べ111億6千7百万円、42.3%の増収となり、経常利益は、3億3千4百万円と前年同期に比べ11億9千6百万円の増益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるエーワイ マニュファクチュアリング リミテッド（米国）、ユーエス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）、ヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エル シー（米国）及びヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド（カナダ）における受注の増加や、ヤチヨ ド ブラジル インダストリア エ コメルシオ デ ペサス リミターダ（ブラジル）が平成23年11月に操業を開始したことなどにより、為替換算上の減少はあつたものの、売上高は、122億8百万円と前年同期に比べ24億4千7百万円、25.1%の増収となり、経常利益は、3億5千万円と前年同期に比べ4億5千9百万円の増益となりました。

（中国）

中国においては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）における受注の減少などにより、売上高は、45億3千9百万円と前年同期に比べ2億9千4百万円、6.1%の減収となり、経常利益は、6億1千8百万円と前年同期に比べ1億4千7百万円、19.3%の減益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド (ベトナム) 及びサイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド (タイ) の受注の増加などにより、為替換算上の減少はあったものの、売上高は、121億6千3百万円と前年同期に比べ14億3千3百万円、13.4%の増収となりました。経常利益は、ヤチヨ インディア マニュファクチュアリング プライベート リミテッド (インド) 及びピー ティー ヤチヨ トリミトラ インドネシア (インドネシア) の操業準備費用はあったものの、増収に伴う利益の増加などにより、10億3百万円と前年同期に比べ8千8百万円、9.7%の増益となりました。

(2) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、1,235億9千5百万円と前年度に比べ79億3千1百万円の減少となりました。

減少した要因は、現金及び預金や為替換算レート差による円換算額の増加などがあったものの、未収入金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

負債合計は、862億7千5百万円と前年度に比べ118億8千2百万円の減少となりました。

減少した要因は、長期借入金や為替換算レート差による円換算額の増加などはあったものの、未払金や支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、373億1千9百万円と前年度に比べ39億5千万円の増加となりました。

増加した要因は、為替換算調整勘定や少数株主持分が増加したことなどによるものであります。

(3) 対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は、8億9千9百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

①連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度に当社において募集を実施した特別早期退職支援制度による退職などにより、当社グループの従業員数は前連結会計年度末に比べ711名減少し、6,773名となりました。

なお、従業員数は就業人員数(当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であります。

②提出会社の状況

当第1四半期累計期間において、前事業年度に当社において募集を実施した特別早期退職支援制度による退職などにより、当社の従業員数は前事業年度末に比べ707名減少し、1,587名となりました。

なお、従業員数は就業人員数(当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む。)であります。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、日本及び米州セグメントの生産、受注及び販売実績が著しく増加しました。

これは、主に前年同期における東日本大震災の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産に伴う大幅な受注の減少によるものであります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 70,000,000  |
| 計    | 70,000,000  |

###### ②【発行済株式】

| 種類   | 第1四半期<br>会計期間末現在<br>発行数(株)<br>(平成24年6月30日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(平成24年8月10日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容            |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 24,042,700                                 | 24,042,700                      | 大阪証券取引所<br>JASDAQ<br>(スタンダード)      | 単元株式数<br>100株 |
| 計    | 24,042,700                                 | 24,042,700                      | —                                  | —             |

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                      | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成24年4月1日～<br>平成24年6月30日 | —                     | 24,042,700           | —               | 3,685          | —                     | 3,504                |

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

| 区分             | 株式数(株)                  | 議決権の数(個) | 内容             |
|----------------|-------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式         | —                       | —        | —              |
| 議決権制限株式(自己株式等) | —                       | —        | —              |
| 議決権制限株式(その他)   | —                       | —        | —              |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式)<br>普通株式 29,100 | —        | 単元株式数100株      |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 24,011,800         | 240,118  | 同上             |
| 単元未満株式         | 普通株式 1,800              | —        | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数        | 24,042,700              | —        | —              |
| 総株主の議決権        | —                       | 240,118  | —              |

② 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

| 所有者の<br>氏名又は名称        | 所有者の住所        | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式数<br>の合計<br>(株) | 発行済株式総数<br>に対する所有株式数<br>の割合(%) |
|-----------------------|---------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株式)<br>八千代工業株式会社 | 埼玉県狭山市柏原393番地 | 29,100               | —                    | 29,100              | 0.12                           |
| 計                     | —             | 29,100               | —                    | 29,100              | 0.12                           |

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員 の 異動はありませ ん。



## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|             | 前連結会計年度<br>(平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(平成24年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                         |                              |
| 流動資産        |                         |                              |
| 現金及び預金      | 6,079                   | 10,154                       |
| 受取手形及び売掛金   | 36,754                  | 31,121                       |
| 商品及び製品      | 1,258                   | 1,283                        |
| 仕掛品         | 1,932                   | 2,356                        |
| 原材料及び貯蔵品    | 5,301                   | 5,369                        |
| 未収入金        | 11,093                  | 3,170                        |
| その他         | 1,631                   | 1,633                        |
| 流動資産合計      | 64,050                  | 55,090                       |
| 固定資産        |                         |                              |
| 有形固定資産      |                         |                              |
| 建物及び構築物     | 42,196                  | 43,384                       |
| 機械装置及び運搬具   | 84,138                  | 84,987                       |
| 工具、器具及び備品   | 40,582                  | 42,099                       |
| 土地          | 18,457                  | 18,907                       |
| 建設仮勘定       | 4,468                   | 4,970                        |
| 減価償却累計額     | △125,767                | △128,657                     |
| 有形固定資産合計    | 64,076                  | 65,692                       |
| 無形固定資産      |                         |                              |
| のれん         | 573                     | 502                          |
| その他         | 402                     | 331                          |
| 無形固定資産合計    | 976                     | 833                          |
| 投資その他の資産    | ※1 2,423                | ※1 1,978                     |
| 固定資産合計      | 67,476                  | 68,504                       |
| 資産合計        | 131,526                 | 123,595                      |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 33,331                  | 28,496                       |
| 短期借入金         | 13,962                  | 14,727                       |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 7,926                   | 7,824                        |
| 賞与引当金         | 2,488                   | 898                          |
| 未払金           | 15,917                  | 6,625                        |
| その他           | 4,563                   | 5,819                        |
| 流動負債合計        | 78,189                  | 64,391                       |
| 固定負債          |                         |                              |
| 長期借入金         | 13,260                  | 15,428                       |
| 退職給付引当金       | 5,619                   | 5,689                        |
| その他           | 1,088                   | 765                          |
| 固定負債合計        | 19,968                  | 21,883                       |
| 負債合計          | 98,157                  | 86,275                       |
| 純資産の部         |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 3,685                   | 3,685                        |
| 資本剰余金         | 3,504                   | 3,504                        |
| 利益剰余金         | 29,803                  | 30,921                       |
| 自己株式          | △24                     | △24                          |
| 株主資本合計        | 36,968                  | 38,086                       |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| その他有価証券評価差額金  | 75                      | 37                           |
| 為替換算調整勘定      | △8,452                  | △6,726                       |
| その他の包括利益累計額合計 | △8,377                  | △6,688                       |
| 少数株主持分        | 4,777                   | 5,922                        |
| 純資産合計         | 33,369                  | 37,319                       |
| 負債純資産合計       | 131,526                 | 123,595                      |

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                                     | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高                                 | 51,724  | 66,478  |
| 売上原価                                | 48,030  | 60,498  |
| 売上総利益                               | 3,694   | 5,979   |
| 販売費及び一般管理費                          | 3,280   | 3,737   |
| 営業利益                                | 414   | 2,242   |
| 営業外収益                               |   |   |
| 受取利息                                | 55  | 34  |
| 固定資産賃貸料                             | 25  | 21  |
| その他                                 | 297   | 54  |
| 営業外収益合計                             | 378   | 111   |
| 営業外費用                               |   |   |
| 支払利息                                | 108   | 102   |
| 為替差損                                | 60  | 74  |
| その他                                 | 6   | 28  |
| 営業外費用合計                             | 174   | 205   |
| 経常利益                                | 618   | 2,148   |
| 特別利益                                |   |   |
| 固定資産売却益                             | 57  | 549   |
| 特別利益合計                              | 57  | 549   |
| 特別損失                                |   |   |
| 固定資産売却損                             | 7   | 3   |
| 固定資産除却損                             | 18  | 52  |
| 特別退職金                               | 120   | —   |
| 災害による損失                             | 108   | —   |
| 特別損失合計                              | 254   | 55  |
| 税金等調整前四半期純利益                        | 421   | 2,641   |
| 法人税等                                | 657   | 899   |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △235  | 1,742   |
| 少数株主利益                              | 220   | 385   |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)                   | △456  | 1,356   |

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|   | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益<br>調整前四半期純損失(△) | △235  | 1,742   |
| その他の包括利益                                |   |   |
| その他有価証券評価差額金                            | △14   | △37   |
| 為替換算調整勘定                                | 532   | 1,912   |
| その他の包括利益合計                              | 518   | 1,875   |
| 四半期包括利益                                 | 282   | 3,617   |
| (内訳)                                    |   |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益                         | 65  | 3,045   |
| 少数株主に係る四半期包括利益                          | 216   | 572   |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

ピー ティー ヤチヨ トリミトラ インドネシアは、平成24年5月に設立されたため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。

この変更については、当社及び一部の連結子会社で推進してきた拠点間での生産補完体制及び生産設備の汎用化体制の基盤構築が完了したことに加え、日本市場におけるホンダグループ全体の完成車生産戦略の見直しにより当社における軽自動車の生産台数が少量安定化となったことを契機として、有形固定資産の減価償却方法について再度検討を行いました。

その結果、近年の設備投資は新機種投資を抑制し、生産体質改善や既存設備の維持更新などを目的とした投資が多くを占める状況となっており、また、受注機種背景や設備汎用性の向上により有形固定資産が稼働開始直後に集中的に使用される傾向から、耐用年数期間にわたり安定的に使用される見通しが明確になってきました。

よって、有形固定資産は収益に対しても安定的な貢献が見込まれると判断しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間以降は、有形固定資産の経済的便益は安定的に発現すると考えられることから、耐用年数期間にわたり一定額の費用が計上される定額法へ変更することとしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は383百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ383百万円増加しております。

なお、セグメントに与える影響については当該箇所に記載しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

|                                       | 前連結会計年度<br>(平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(平成24年6月30日)            |
|---------------------------------------|-------------------------|---|
| 投資その他の資産                              | 2,131百万円                | 2,180百万円                                |
| 2 保証債務                                |                         |   |
| 次の関係会社等について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。 |                         |   |
| 債務保証                                  |                         |   |
|                                       | 前連結会計年度<br>(平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(平成24年6月30日)            |
| ヒラタ ヤチヨ リーシング<br>リミテッド (借入債務)         | 479百万円                  | ヒラタ ヤチヨ リーシング<br>リミテッド (借入債務)<br>412百万円 |
|                                       |                         | ユー ワイ ティー リミテッド<br>(借入債務)<br>138        |
| 計                                     | 479                     | 550                                     |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

|         | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費   | 2,205百万円                                      | 1,857百万円                                      |
| のれんの償却額 | 71  | 71  |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 240             | 10              | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 240             | 10              | 平成24年3月31日 | 平成24年6月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

|                        | 報告セグメント |       |       |        |            |        | 調整額<br>(注)1 | 四半期<br>連結損益<br>計算書<br>計上額<br>(注)2 |
|------------------------|---------|-------|-------|--------|------------|--------|-------------|-----------------------------------|
|                        | 日本      | 米州    | 中国    | アジア    | その他<br>の地域 | 計      |             |                                   |
| 売上高                    |         |       |       |        |            |        |             |                                   |
| 外部顧客への売上高              | 26,398  | 9,761 | 4,833 | 10,730 | —          | 51,724 | —           | 51,724                            |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高  | 1,765   | 2     | 65    | 37     | —          | 1,871  | (1,871)     | —                                 |
| 計                      | 28,164  | 9,763 | 4,899 | 10,768 | —          | 53,595 | (1,871)     | 51,724                            |
| セグメント利益<br>(又はセグメント損失) | △862    | △108  | 766   | 914    | 3          | 712    | (94)        | 618                               |

(注) 1 セグメント利益の調整額△94百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

|                       | 報告セグメント |        |       |        |            |        | 調整額<br>(注)1 | 四半期<br>連結損益<br>計算書<br>計上額<br>(注)2 |
|-----------------------|---------|--------|-------|--------|------------|--------|-------------|-----------------------------------|
|                       | 日本      | 米州     | 中国    | アジア    | その他<br>の地域 | 計      |             |                                   |
| 売上高                   |         |        |       |        |            |        |             |                                   |
| 外部顧客への売上高             | 37,566  | 12,208 | 4,539 | 12,163 | —          | 66,478 | —           | 66,478                            |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | 1,832   | 9      | 212   | 65     | —          | 2,121  | (2,121)     | —                                 |
| 計                     | 39,399  | 12,218 | 4,752 | 12,229 | —          | 68,599 | (2,121)     | 66,478                            |
| セグメント利益               | 334     | 350    | 618   | 1,003  | 3          | 2,310  | (162)       | 2,148                             |

(注) 1 セグメント利益の調整額△162百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。

この変更については、当社及び一部の連結子会社で推進してきた拠点間での生産補完体制及び生産設備の汎用化体制の基盤構築が完了したことに加え、日本市場におけるホンダグループ全体の完成車生産戦略の見直しにより当社における軽自動車の生産台数が少量安定化となったことを契機として、有形固定資産の減価償却方法について再度検討を行いました。

その結果、近年の設備投資は新機種投資を抑制し、生産体質改善や既存設備の維持更新などを目的とした投資が多くを占める状況となっており、また、受注機種背景や設備汎用性の向上により有形固定資産が稼働開始直後に集中的に使用される傾向から、耐用年数期間にわたり安定的に使用される見通しが明確になってきました。

よって、有形固定資産は収益に対しても安定的な貢献が見込まれると判断しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間以降は、有形固定資産の経済的便益は安定的に発現すると考えられることから、耐用年数期間にわたり一定額の費用が計上される定額法へ変更することとしました。

この変更により、従来と同じ方法によった場合に比べ、セグメント利益が、「日本」で326百万円、「米州」で31百万円、「アジア」で26百万円それぞれ増加しております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                                   | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益<br>又は1株当たり四半期純損失(△)   | △18円99銭                                       | 56円50銭  |
| (算定上の基礎)                          |   |   |
| 四半期純利益<br>又は四半期純損失(△)(百万円)        | △456  | 1,356   |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)                 | —   | —   |
| 普通株式に係る四半期純利益<br>又は四半期純損失(△)(百万円) | △456  | 1,356   |
| 普通株式の期中平均株式数(株)                   | 24,013,663                                    | 24,013,562                                    |

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月10日

八千代工業株式会社

取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 矢定 俊博 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐野 康一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 日置 重樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている八千代工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、八千代工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

会計方針の変更に記載されているとおり、会社及び一部の連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法を、当第1四半期連結会計期間より変更している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。